



<CAM ベトナム・リサーチ・レポート>

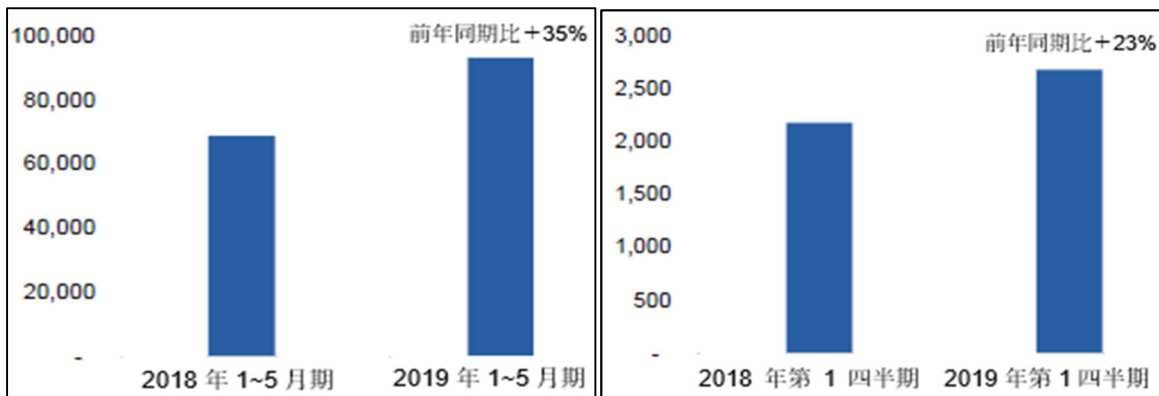
2019年7月17日

ベトナムにおける消費動向 (2019年上期)

裁量的支出は、乗用車の販売台数（1月～5月）が前年同期比で35%増、生命保険年間保険料（1月～5月）が同25%、宝飾品の売上（第1四半期）が同23%といずれも前年同期を大幅に上回る伸びを示した。

ベトナムの乗用車販売台数（単位：台）

宝飾品小売売上高（単位:10億ドン）

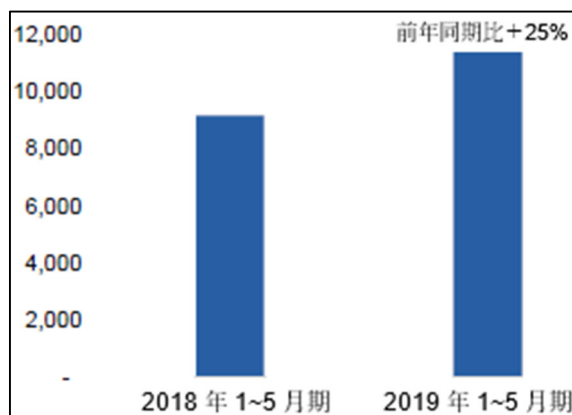


出所:ベトナム自動車工業会

出所:PNJ

2018年上期に減速した日用消費財は、2019年上期にパーソナルケア製品が、農村部で18%、都市部で12%増加し、飲料もそれぞれ16%、8%伸びるなど順調な回復傾向にある（前年同期比）。

ベトナムの生命保険年間保険料（新契約）
（単位:10億ドン）

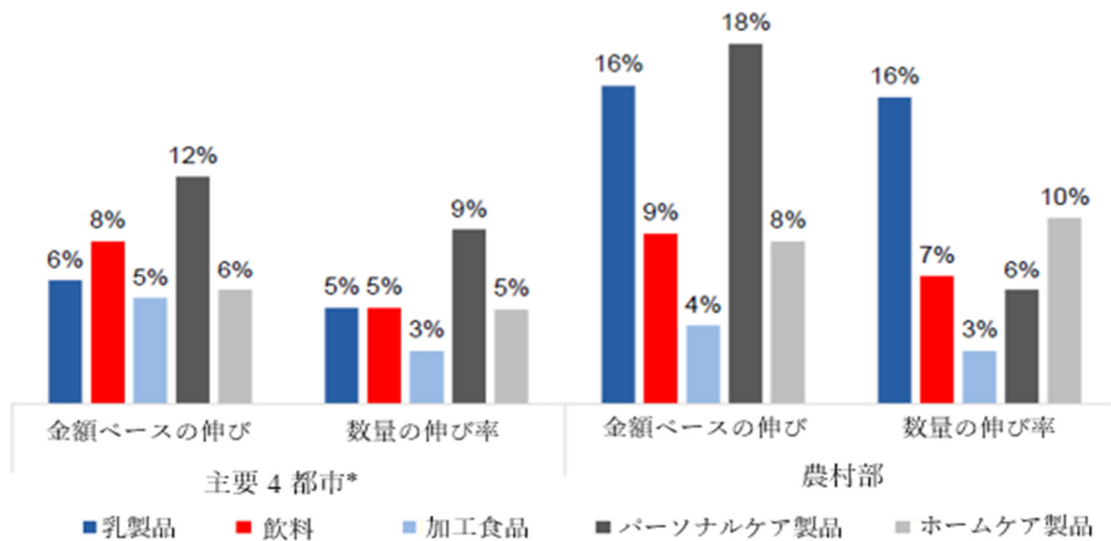


出所: 現地証券会社レポートを基にキャピタルアセットマネジメントにて作成



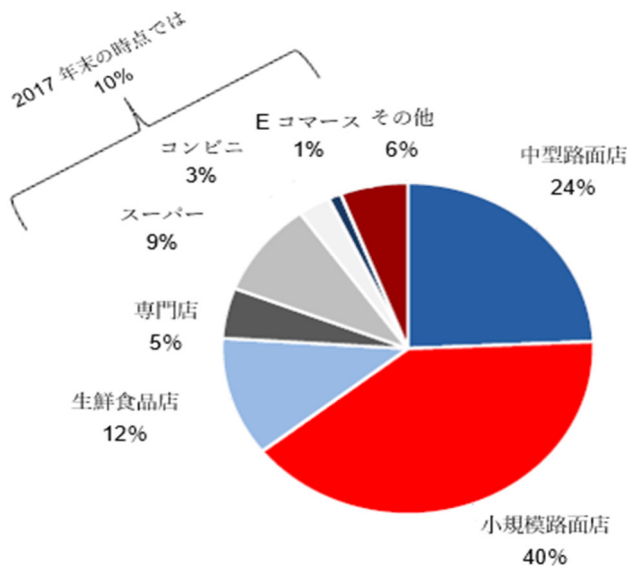
ベトナムでは近代的な小売部門（スーパー、コンビニ、E コマース等）はほとんど浸透して
 いない、日用消費財の小売全体の13%を占めるにすぎない（2019年第1四半期）が、主要
 4都市でコンビニは前年同期比で32%、スーパーは同14%と堅調な伸びを示した。しかし、
 今後は利便性と質の高いサービスに対する消費者のニーズを満たすために、業者がサービ
 スの幅を広げE コマースへの取り組みを強化していることから、同部門は飛躍的な成長が
 見込まれる。

ベトナムの品目別日用消費財の前年同期比伸び率（2019年第1四半期）



出所: 現地証券会社レポートを基にキャピタルアセットマネジメントにて作成

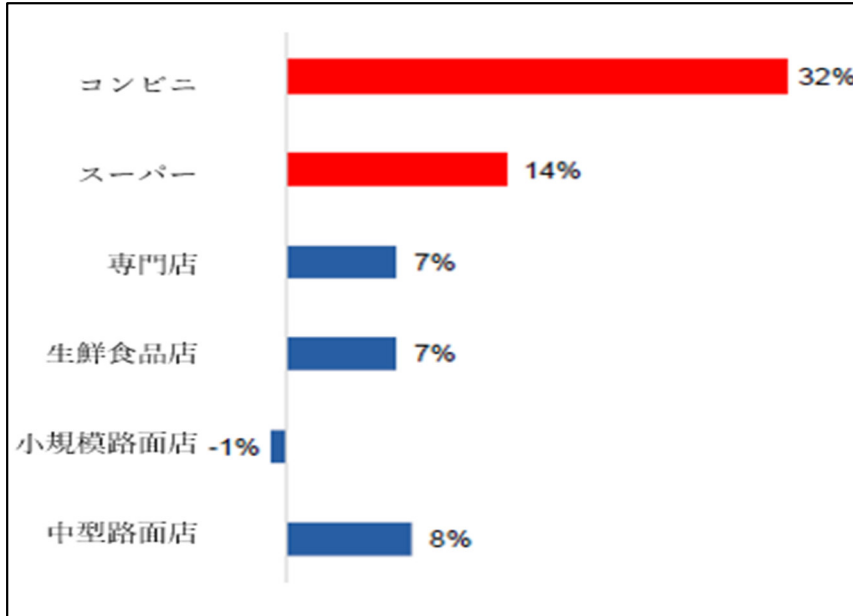
ベトナムの日用消費財売上の販路別内訳（2019年第1四半期）



出所: 現地証券会社レポートを基にキャピタルアセットマネジメントにて作成



日用消費財の販路別前年同期比伸び率（2019年第1四半期；主要4都市）



出所: 現地証券会社レポートを基にキャピタルアセットマネジメントにて作成

(*) 主要4都市とはホーチミン、ハノイ、ダナン、カントーのことである。

以上